

校長あいさつ

本校は、今年度で創立152年目を迎える歴史と伝統に支えられた学校です。本校は、明治5年、小さな民家を借りてスタートし、地域の人々とともに発展してきた学校です。戦後は、国鉄岩日線（現在の錦川清流線鉄道）の開通、山陽新幹線の開通とともに新岩国駅の設置、また山陽自動車道開通に伴う岩国インターチェンジの設置と、常に交通の要所となってきました。こうして御庄という利便性の高い地域に多くの人々が移り住み、少子化に悩む岩国市において、児童数を維持し続けているのです。



本校にご来校いただくと、まず正面玄関横に建つ「人」の漢字を象ったモニュメントが目飛び込んできます。さらに玄関に進むと、目指す児童像を示す『仁』『修』『健』『働』の4つの漢字が迎え入れてくれます。（いずれも「人」という字が使われています。）平成5年に新築された校舎は「人」という漢字の形に設計されており、斬新さとぬくもりが感じられます。

人を大切にし、人が集う場所・・・古くからこの地に住む人、そして新しくこの地を選び住み始めた人・・・多くの人々をつなぐ役割を果たすのが御庄小学校なのです。

学校にかかわるすべての人々とのつながりを大切に『ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生き抜く御庄っ子』の育成を目指して、教職員一同、誠心誠意努力していく所存です。

岩国市立御庄小学校 校長 野村恭子

